

目 次

I. 総括研究報告

- 震災時の妊婦・褥婦の医療・保健的課題に関する研究 1
東北大学 名誉教授 岡村 州博

II. 分担研究報告

- 大災害での母子健康手帳活用 15
岩手県立大船渡病院 副院長 小笠原 敏浩
- 東日本大震災が福島県の妊娠成立および妊婦・褥婦に与えた影響についての研究 21
福島県立医科大学 産科婦人科学講座 教授 藤森 敬也
- 震災およびそれ以降の婦人科がん検診の動向に関する研究
一震災時に妊婦・褥婦であった女性の長期的健康保持を図る上での問題点一 25
東北大学災害科学国際研究所 災害産婦人科学分野 教授 伊藤 潔
- 産科領域の災害時役割分担、情報共有のあり方検討 Working Group 41
東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 地域医療支援部門 教授 菅原 準一
- 震災時に周産期女性だった母親とそのパートナーの心身の健康状態と
周産期医療従事者の実態調査研究 一震災後 1.4 年と 2 年目の実態一 51
東北大学大学院医学系研究科 保健学専攻周産期看護学分野 教授 佐藤 喜根子
- 東日本大震災が岩手県・宮城県・福島県の生殖医療に与えた影響 93
東北大学大学院医学系研究科 非常勤講師・スズキ記念病院院長 星 和彦